

「進化と適応」著者の意見と一般的な意見

評論文は概して「一般的にはまたは××は」と思われている(言っている)が、実は「である」という形式で書かれてある。それにもとに、「進化と適応」(P154)の文章に書かれてある、著者の意見・結論と一般論を見つけ出し、ワークシートに記載していこう。

頁・行を記すこと。書かれてある部分をすべて抜き出すか、簡単に要約して記すこと。抜き出す場合は「」で囲むこと。(要約する場合は「」で囲む必要はない。)

具体例は記す必要はない。

対立している意見はなるべく上下に記し、「」のように対立を表す記号を記すこと。

「そのものずばり」を書くこと。メタディスコースは言い切る形に変換して記す。

一般的な意見認識・対立意見認識	著者の意見・結論
<p>(例)155頁3行目あたりから</p> <p>生物は自然淘汰により環境に適応した種が残るため、最も原始的なアメーバは不完全形で、最も新しい人類が完全化された生物である。</p>	<p>155頁13行目あたりから</p> <p>「アメーバから人間まで」というこの表現には、<u>どうもおかしいところがある</u>。」</p> <p>「単純に『アメーバから人間まで』などと言っただけでは、事がすまないような気がしてくる。」</p> <p>156頁8行目</p> <p>アメーバは環境に「不適応」ではなく、適応して生き残っている。</p>



	一般的な意見認識・対立意見認識
	著者の意見・結論